

# 2017年度 連結決算説明資料

< 2018年5月10日>

## 株式会社 酉島製作所

証券コード:6363

www.torishima.co.jp

## 2017年度 連結決算概略

親会社株主に帰属する



前期比計画比

● 受 注 高 ― 422億円 ▲13億円 ▲18億円

● 売 上 高 — 454億円 +10億円 +9億円

営業利益 — 13億円 ▲2億円 ▲7億円

● 経常利益 — 15億円 ▲3億円 ▲10億円

● 当期利益 ― 9億円 ▲6億円 ▲9億円

# 2017年度 連結決算実績(連結)



単位:億円

	2016年度	2017年帝	增	記	当初* <sup>1</sup>	当初記	計画比	
	2016年度	2017年度	金額	%	計画	金額	%	予想
受注高	435	422	<b>▲</b> 13	▲3.0%	440	▲18	<b>▲</b> 4.1%	
売上高	444	454	+10	+2.3%	445	+9	+2.0%	450
売上総利益 (売上総利益率)	105 (23.7%)	110 (24.2%)	+5 (0.5pt)	+4.8%	_	_	_	_
販管費	91	97	+6	+6.6%	_	_	_	_
営業利益 (営業利益率)	15 (3.3%)	13 (2.9%)	▲2 (▲0.4pt)	▲13.3% —	20	<b>▲</b> 7	▲35.0%	13
営業外損益	4	3	<b>▲</b> 1	_	_	_	_	_
経常利益	19	15	<b>▲</b> 3	▲15.8%	25	▲10	▲40.0%	15
特別損益	1	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 2	_	_	_	_	_
親会社株主に帰属する 当期純利益	15	9	<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 40.0%	18	<b>▲</b> 9	▲50.0%	8

期末レート(1USD)

2017/3末:112.19

2018/3末:106.24

\*12017年5月11日付

\*22018年4月18日付

### 2017年度 連結決算実績(単体・子会社別)



単位:億円

■単体

	2016年度	2016年度 2017年度 -		増減		
	2010十/文	2017	金額	%		
売上高	361	370	+9	+2.5%		
売上総利益 (営業総利益率)	67 (18.5%)	70 (18.9%)	+3 (+0.4pt)	+4.5% —		
販管費	64	65	+1	+1.6%		
営業利益 (営業利益率)	3 (0.8%)	4 (1.2%)	+1 (+0.4pt)	+33.3%		

■子会社(連結-単体)

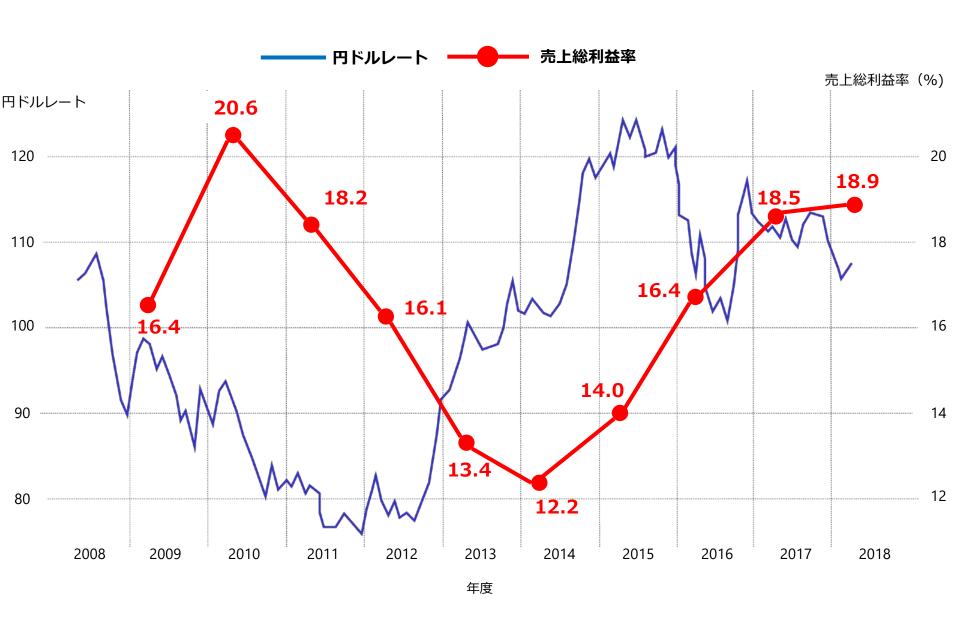
		,			
2016年度	2017年度	増減			
2010-12	2017—12	金額	%		
83	84	+1	+1.2%		
38 (45.8%)	40 (47.4%)	+2 (+1.6pt)	+5.3% —		
27	32	+5	+18.5%		
12 (14.5%)	9 (10.7%)	▲3 (▲3.8pt)	<b>▲</b> 25.0%		

• 受注時の利益管理の徹底により、利益率は回復しているものの、 工事損失引当金7億円、貸倒引当金4億円を繰り入れたため、 営業利益の増益幅は1億円にとどまる。

- 売上高はおおむね計画通り、利益率も上昇。
- サービス事業の拡大に伴い、シンガポール拠点 の移転拡張、タイ、台湾、マレーシア、フィリ ピンの4エリアにサービス拠点を新設したこと などにより販管費が増加したため減益。
- サービス事業が中心であり、子会社全体として は高収益性をキープ。

#### 単体売上総利益率と為替レートの推移







#### 2017年度連結決算のまとめ

受注:国内官公需が計画を下回り、全体では未達。

(国内民需、海外はおおむね計画通り)

売上:計画達成。

利益:利益率は改善しているものの計画未達。

主な要因は以下2点。

・中東におけるプロジェクトの長期化等により、 工事損失引当金、貸倒引当金を繰入れ。

・海外子会社(主にサービス会社)の業務拡大などにより販管費増。

# 2017年度 連結貸借対照表



単位:百万円

売上債権 23,667 26,784 +3,117 国内官公需の4Qの売上増加による。 棚卸資産 8,995 9,530 +535 資倒引当金 ▲371 ▲841 ▲470 海外案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。				丰位,口/川)	
売上債権 23,667 26,784 +3,117 国内官公需の4Qの売上増加による。 棚卸資産 8,995 9,530 +535 貸倒引当金 ▲371 ▲841 ▲470 海外案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。	資産	2017年3月末	2018年3月末	増減	
棚卸資産 8,995 9,530 +535 海外案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件の計算 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件の計算 第分案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。 第分案件の計算 第分案件の表生増加による増減。 第分案件による増減。 第分案件による追加引当。 第分案件 第分案件 第分案件 第分案件 第分案件 第分案件 第分案件 第分案件	現金預金	10,930	11,474	+ 544	
貸倒引当金 ▲ 371 ▲ 841 ▲ 470 → 海外案件で回収が長期化している売掛金に対する追加引当。  添動資産計 45,318 49,067 +3,749 固定資産計 22,401 22,583 +182 資産合計 67,719 71,651 +3,932 負債及び純資産 2017年3月末 増減 仕入債務 9,457 10,998 +1,541 短期借入金 7,453 4,196 ▲ 3,256 前受金 4,381 3,091 ▲ 1,290 製品保証引当金 847 722 ▲ 125 工事損失引当金 957 1,635 +678 流動負債計 26,200 24,130 ▲ 2,070 長期借入金 5,668 11,095 +5,427 低金利長期借入金へのシフトによる増加。  固定負債計 7,805 13,504 +5,699 純資産計 33,713 34,017 +304	売上債権	23,667	26,784	+3,117 ←	国内官公需の4Qの売上増加による。
★3/1 ★841 ★4/0 る追加引当。	棚卸資産	8,995	9,530	+535	
固定資産計 22,401 22,583 +182 資産合計 67,719 71,651 +3,932 負債及び純資産 2017年3月末 2018年3月末 増減 仕入債務 9,457 10,998 +1,541 短期借入金 7,453 4,196 ▲3,256 前受金 4,381 3,091 ▲1,290 製品保証引当金 847 722 ▲125 工事損失引当金 957 1,635 +678 流動負債計 26,200 24,130 ▲2,070 長期借入金 5,668 11,095 +5,427 低金利長期借入金へのシフトによる増加。 随定負債計 7,805 13,504 +5,699 純資産計 33,713 34,017 +304	貸倒引当金	▲371	▲841	<b>▲</b> 470 ←	
資産合計 67,719 71,651 +3,932 負債及び純資産 2017年3月末 2018年3月末 増減 仕入債務 9,457 10,998 +1,541 短期借入金 7,453 4,196 ▲3,256 前受金 4,381 3,091 ▲1,290 製品保証引当金 847 722 ▲125 工事損失引当金 957 1,635 +678 流動負債計 26,200 24,130 ▲2,070 長期借入金 5,668 11,095 +5,427 低金利長期借入金へのシフトによる増加。 超定負債計 7,805 13,504 +5,699 純資産計 33,713 34,017 +304	流動資産計	45,318	49,067	+3,749	
負債及び純資産 2017年3月末 2018年3月末 増減 仕入債務 9,457 10,998 +1,541 短期借入金 7,453 4,196 ▲3,256 前受金 4,381 3,091 ▲1,290 製品保証引当金 847 722 ▲125 工事損失引当金 957 1,635 +678 流動負債計 26,200 24,130 ▲2,070 長期借入金 5,668 11,095 +5,427 低金利長期借入金へのシフトによる増加。 起定負債計 7,805 13,504 +5,699 純資産計 33,713 34,017 +304	固定資産計	22,401	22,583	+182	
仕入債務 9,457 10,998 +1,541	資産合計	67,719	71,651	+3,932	
短期借入金 7,453 4,196 ▲3,256 国内官公需の4Qの売上増加による増減。 前受金 4,381 3,091 ▲1,290 東品保証引当金 847 722 ▲125 中東プロジェクトの長期化にともなう追加費用の発生による追加引当。 本1,635 +678 中東プロジェクトの長期化にともなう追加費用の発生による追加引当。 本2,070 長期借入金 5,668 11,095 +5,427 低金利長期借入金へのシフトによる増加。 固定負債計 7,805 13,504 +5,699 純資産計 33,713 34,017 +304	負債及び純資産	2017年3月末	2018年3月末	増減	
前受金 4,381 3,091 ▲1,290 製品保証引当金 847 722 ▲125 工事損失引当金 957 1,635 +678 中東プロジェクトの長期化にともなう追加費用 の発生による追加引当。 流動負債計 26,200 24,130 ▲2,070 長期借入金 5,668 11,095 +5,427 低金利長期借入金へのシフトによる増加。 固定負債計 7,805 13,504 +5,699 純資産計 33,713 34,017 +304	仕入債務	9,457	10,998	+1,541	
製品保証引当金 847 722 ▲125 中東プロジェクトの長期化にともなう追加費用の発生による追加引当。 中東プロジェクトの長期化にともなう追加費用の発生による追加引当。	短期借入金	7,453	4,196	<b>▲</b> 3,256	国内官公需の4Qの売上増加による増減。
工事損失引当金 957 1,635 +678 中東プロジェクトの長期化にともなう追加費用の発生による追加引当。	前受金	4,381	3,091	<b>▲</b> 1,290 ∠	/
工事損失引当金 957 1,635 +678 ○ の発生による追加引当。  流動負債計 26,200 24,130 ▲ 2,070 長期借入金 5,668 11,095 +5,427 ← 低金利長期借入金へのシフトによる増加。  固定負債計 7,805 13,504 +5,699  純資産計 33,713 34,017 +304	製品保証引当金	847	722	<b>▲</b> 125	中東プロジェクトの目期ルにレナかる泊加寿田
長期借入金     5,668     11,095     +5,427     低金利長期借入金へのシフトによる増加。       固定負債計     7,805     13,504     +5,699       純資産計     33,713     34,017     +304	工事損失引当金	957	1,635	+678 ←	
固定負債計 7,805 13,504 +5,699 純資産計 33,713 34,017 +304	流動負債計	26,200	24,130	<b>▲</b> 2,070	
純資産計 33,713 34,017 +304	長期借入金	5,668	11,095	+5,427 ←	低金利長期借入金へのシフトによる増加。
	固定負債計	7,805	13,504	+5,699	
負債純資産合計 67,719 71,651 +3,932	純資産計	33,713	34,017	+304	
	負債純資産合計	67,719	71,651	+3,932	

# 2017年度 連結キャッシュフロー



単位:百万円

		2017年 3月末	2018年 3月末		
営	業活動によるキャッシュフロー	6,496	587		
	売上債権の増減額(▲は減少)	▲915	<b>▲</b> 3,180	$\leftarrow$	国内官公需の4Qの売掛金は、 4月、5月で回収予定。
	前受金の増減額(▲は減少)	1,222	<b>▲</b> 1,282		
投	資活動によるキャッシュフロー	1,376	<b>▲</b> 1,105		
財	務活動によるキャッシュフロー	<b>▲</b> 4,140	1,153	$\leftarrow$	低金利長期借入金へのシフトに よる増加。
現	金及び現金同等物の期末残高	10,871	11,379		

#### 2019中期経営計画の修正



億円

【受注】当初計画は下回るものの、2018年度は450億円、2019年度は460億円を見込む。

【売上】海外サービス拠点の新設などにより、2018年度は当初計画より5億増の460億円、2019年度は、2017年度の受注減から横ばいを見込む。

【利益】利益率は順調に上昇しているものの、耐震対策と工場集約を兼ねた本社工場・ビルの建替えのため、 中期経営計画は1年遅れで進捗。

	2017年度		2018	年度画	2019年	度計画
	当初計画*	実績	当初計画*	修正計画	当初計画*	修正計画
受注高	440	422	460	450	500	460
売上高	445	454	455	460	465	460
営業利益 (営業利益率)	20 (4.5%)	13 (2.9%)	25 (5.5%)	20 (4.3%)	30 (6.5%)	25 ( <del>5.</del> 4%)
経常利益	25	15	30	20	35	25
当期純利益	18	9	20	14	25	18

\*2017年5月11日公表計画



株式会社 酉島製作所



## 空白

# 2018年度 連結決算計画(連結)



	2017年度実績	2018年度計画	増減
受注高	422	450	+18
売上高	454	460	+6
売上総利益 (売上総利益率)	110 (24.2%)	121 (26.3%)	+11 (+2.1pt)
販管費	97	101	+4
営業利益 (営業利益率)	13 (2.9%)	20 (4.4%)	+7 (+1.5pt)
経常利益	16	20	+4
当期純利益	9	14	+5
設備投資額	9	17	+8
減価償却費	16	17	+0.5
研究開発費	4	5	+0.3

# 2018年度 連結決算計画(単体・子会社)



#### ■単体

単位:億円	2017年 実績	2018年度 見通し	増減
売上高	370	370	±0
売上総利益 (営業総利益率)	70 (18.9%)	77 (20.8%)	+7 (+1.9pt)
販管費	65	69	+4
営業利益 (営業利益率)	4 (1.2%)	8 (2.2%)	+4 (+1.0pt)

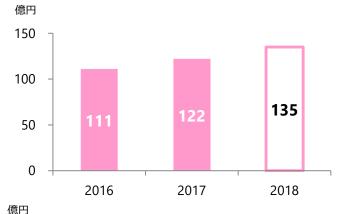
#### ■子会社(連結-単体)

/ <del>立</del>	ш
15	ш

2017年度 実績	2018年度 見通し	増減
84	90	+6
40 (47.4%)	44 (48.9%)	+4 (+1.5pt)
32	32	±0
8 (9.8%)	11 (12.2%)	+3 (+2.4pt)

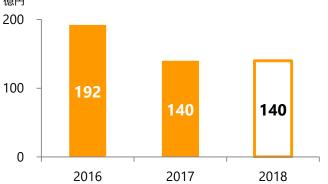
#### 事業領域別受注計画





#### ●ハイテクポンプ

- 国内、海外ともに石炭火力発電市場の新設需要は減少。
- 上下水、海水淡水化などの水市場及び、バイオマス、地熱、次世代型高効率火力発電など、幅広い発電方式に対応するポンプで総合的にカバー。
- 顧客ターゲットの裾野が広く、利益率も比較的高いエコポンプを強化。 「ポンプdeエコ」の活動継続。



#### ●プロジェクト

- 国内の官公需は、引き続き水インフラの更新を見込む。
- 新技術、新製品による提案強化。
- 海外プロジェクトは、中東諸国の不安定な情勢を考慮し、引き続き、 保守的なスタンスで慎重に対処。

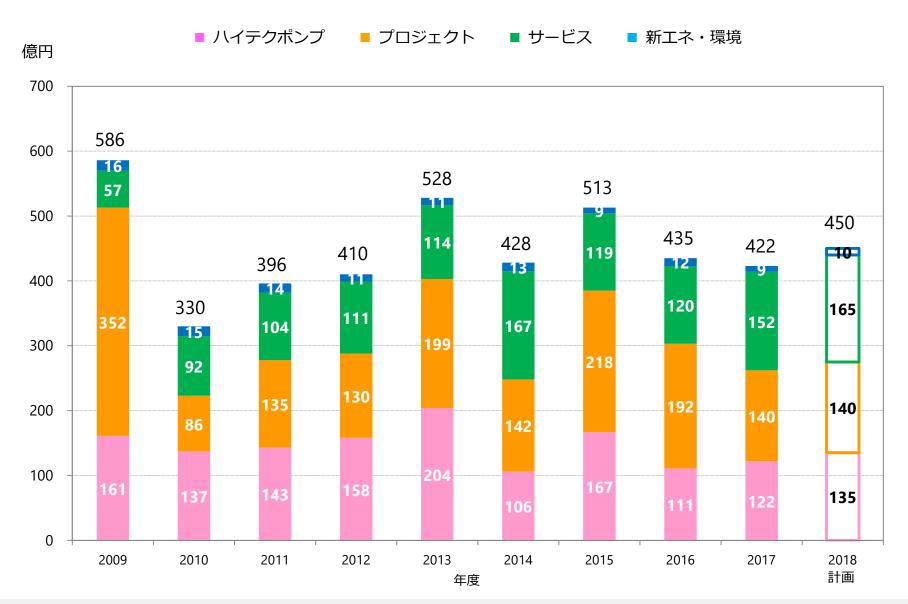


#### ●サービス

- ボイラ給水ポンプの工場持込み整備の増加。
- スーパーバイザーの顧客提案の強化。
- IoTを活用したサービス提供開始。
- 海外サービス拠点のさらなる強化、拡大。
- TSS(Torishima Service Solutions)ブランドの確立。

#### 事業領域別受注計画





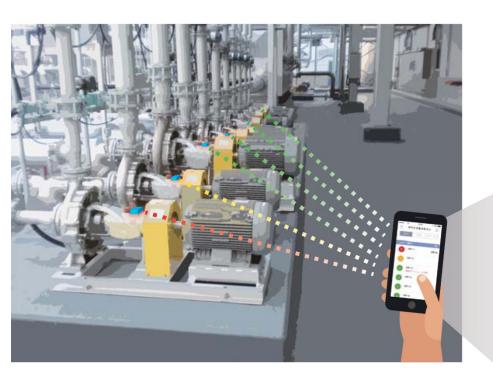
#### サービス新システムの販売開始予定



ティーアールコム

# TR-COM

データをもとに機器の異常を早期発見。 メンテナンスの常識を変える新システム。 ポンプはもちろんあらゆる回転機器に導入可能。



2018年7月 販売開始予定





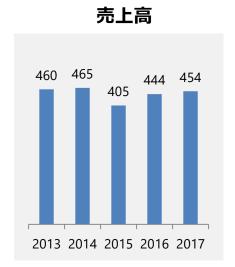


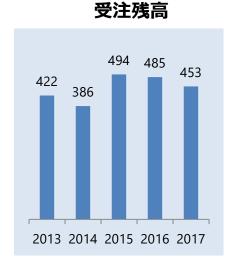
## 補足資料

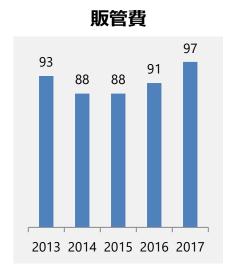
#### 連結決算 5年間の推移 (単位: 億円







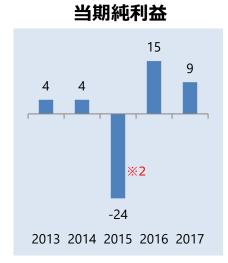












※1 システム導入費や減価償却費などがかさんだことによる販管費の増加、超円高時における受注案件(利益率低)の売上計上が多かったことなどから営業損失を計上。 ※2 為替差損や持分法による投資損失、繰延税金資産の取崩しなど一過性要因による損失がかさみ大幅減益。

## 需要先別受注残高・受注高・売上高

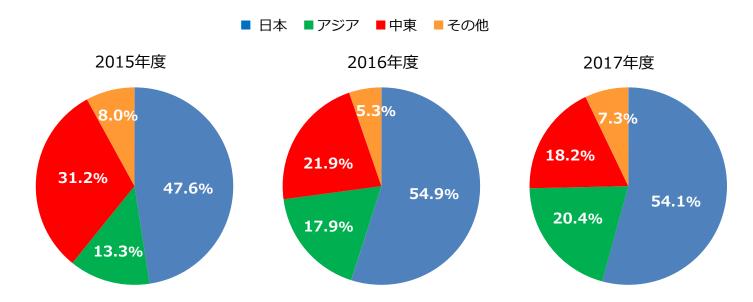


		2016年度			2017年度	
	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
官需	15,913	13,832	14,788	13,914	16,621	12,082
前年増減率	▲0.6%	+38.6%	+16.4%	<b>▲</b> 12.6%	+20.2%	▲18.3%
民 需	7,973	8,320	5,251	8,914	8,436	5,729
前年増減率	▲5.0%	+17.5%	<b>▲</b> 6.2%	+11.8%	+1.4%	+9.1%
海外	19,595	22,261	28,436	19,403	20,322	27,516
前年増減率	▲27.1%	<b>▲</b> 4.9%	▲8.6%	▲1.0%	▲8.7%	▲3.2%
合 計	43,483	44,414	48,476	42,233	45,381	45,328
前年増減率	▲15.2%	+9.7%	▲1.9%	▲2.9%	+2.2%	▲6.5%

# 地域別受注高



	日本	海外内訳 日本 海外全体 ————————————————————————————————————			合計	
			アジア	中東	その他	HIPI
2015年度	244 (47.6%)	269 (52.4%)	68 (13.3%)	160 (31.2%)	41 (7.9%)	513
2016年度	239 (54.9%)	196 (45.1%)	78 (17.9%)	95 (21.9%)	23 (5.3%)	435
2017年度	229 (54.1%)	194 (45.9%)	87 (20.4%)	77 (18.2%)	30 (7.3%)	422

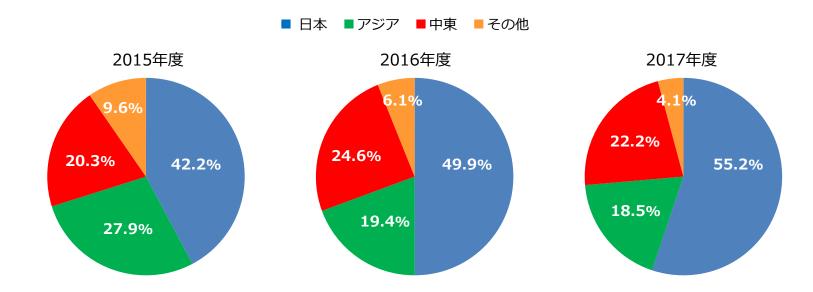


株式会社 酉島製作所

# 地域別売上高

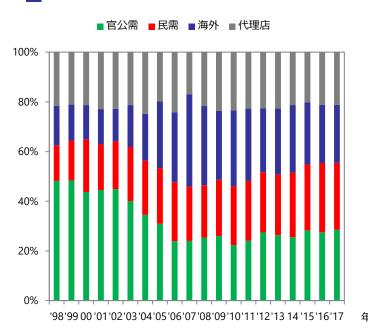


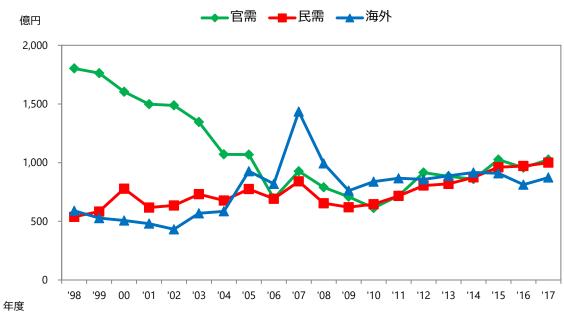
	日本	海外全体		合計		
	LI/TY	/ <del>9</del> /1 <del>1</del>	アジア	中東	その他	
2015年度	171 (42.2%)	234 (57.8%)	113 (27.9%)	82 (20.3%)	39 (9.6%)	405
2016年度	222 (49.9%)	223 (50.1%)	86 (19.4%)	109 (24.6%)	27 (6.1%)	444
2017年度	251 (55.2%)	203 (44.8%)	84 (18.5%)	101 (22.2%)	19 (4.1%)	454



# 日本のポンプ市場の受注推移







		'98	'99	00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	14	'15	'16	'17	前年比
官公需	金額	180,337	176,337	160,550	149,806	148,831	134,685	107,124	106,948	69,504	92,722	79,096	70,999	61,305	71,888	91,545	88,445	85,859	102,582	95,735	102,616	107.2%
	構成比%	48.2	48.4	43.7	44.5	44.9	40.1	34.5	30.9	23.9	24.0	25.4	26.0	22.4	24.1	27.5	26.4	25.5	28.3	27.5	28.0	
民	金額	53,878	58,396	77,895	61,733	63,572	73,130	67,732	77,537	69,286	84,067	65,471	62,051	64,668	71,698	80,560	81,964	87,442	96,140	97,087	100,023	103.0%
需	構成比%	14.4	16.0	21.2	18.3	19.2	21.8	21.8	22.4	23.8	21.8	21.0	22.7	23.6	24.1	24.2	24.4	26.0	26.5	27.9	27.3	
海	金額	59,055	52,766	50,737	48,032	43,247	56,846	58,578	92,770	81,919	143,535	99,326	76,108	83,883	86,763	85,712	88,787	91,612	90,925	81,236	87,290	107.5%
外	構成比%	15.8	14.5	13.8	14.3	13.1	16.9	18.9	26.8	28.1	37.2	31.9	27.8	30.6	29.1	25.7	26.5	27.2	25.1	23.4	23.8	
代理	金額	81,143	76,961	78,116	76,978	75,608	71,500	77,030	68,459	70,310	65,315	67,590	64,338	64,080	67,712	75,455	76,231	71,510	72,963	73,839	77,073	104.4%
店	構成比%	21.7	21.1	21.3	22.9	22.8	21.3	24.8	19.8	24.2	16.9	21.7	23.5	23.4	22.7	22.6	22.7	21.3	20.1	21.2	21.0	
合計	金額	374,413	364,460	367,298	336,549	331,258	336,161	310,464	345,714	291,019	385,639	311,483	273,496	273,936	298,061	333,281	335,427	336,423	362,610	347,897	367,002	105.5%

出典:日本産業機械工業会

百万円

本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる 結果となる可能性があることをご了承ください。

#### 【お問い合わせ先】

株式会社 酉島製作所 総務部 I R広報グループ

Tel: 072-695-0551

Email: torishima-ir@torishima.co.jp